

平成24年

競技場 1 面 老人工芝に

12月定例会の あらまし

開催されました。

の変更1件を常任委員会に、平成23年度補正予算4件、の変更1件を常任委員会に、平成23年度補正予算4件、字第1日目は人事1件を可決した後、条例改正3件、字 指定管理者の指定4件を予算特別委員会にそれぞれ付託

第2日目は、

書1件を、いずれも可決しました。請願1件の審査報告、人事1件、看護師不足解消の意見 6次産業化などを取り上げ、 最終日には、予算特別委員会、常任委員会の審査報告

12月定例会が12月8日から20日までの13日間の会期で

人工芝競技場の整備により、ホッケーの競技力向上が期待される。(大会で奮闘する置賜農業高校ホッケー部)

人工芝に期待する

玉 庭 高橋佳代さん

技力向上と全国大会上位入賞、 してオリンピック選手が川西町か ら育っていくことを期待します。



犬 川 細谷良一さん

を開けるよう人工芝を2面にし、 活性化できる競技場ができること を切に願います。



①天然芝の特性を生か 備方針を次のとおり定 内で検討され、 その結果に基づき庁 町の整

芝ホッケー競技場がい

案であった人工

よいよ実現する。

このたびの補正予算

しスポーツ振興を図る

数は東北各県の整備状 ②人工芝の必要コー ために1面は天然芝と

③福島県で予定されて 若干拡張して人工芝コ 在のホッケー 保する。そのため、現 面かつ6人制3面を確 況を踏まえ、 いた25年度の東北総合 トを整備する。 -競技場を 11人制1 しかし近年ホッ

ケ

となり、 も山形県以外はすべて 競技場は人工芝が主流 東北において

長から諮問があり、 ポーツ振興審議会に町 ていた。今年6月にス進計画」に盛り込まれ

場整備は昨年度に決定

人工芝ホッケー競技

した「過疎地域自立促

提案され可決された。

(期間23~24年度) が

万円の債務負担行為 場設計委託料1000 に人工芝ホッケー競技

> 震災の影響により、 年度に整備する。 になったことから、 形県で開催されること 24 山

れてきた。 種全国大会等が開催さ が整備されて以来、各 開催され天然芝コー ッケー競技が川西町で 会(べにばな国体) れた国民体育大成4年に開催さ

化につながることを期 県のホッケー競技の強 この整備により 山形

取り上げられて との意見があった。 の確保育成を図るべき 技力の向上や、 にあたって、一層の競 ホッケー競技場の整備 トの整備要望が寄せら 関係者から人工芝コー ンデとなってい て不慣れな人工芝はハ 議会からは、人工芝 これまで、 議会一般質問でも 選手にと 競技団体 指導者 た。 いた。

1つの事業や事務が単年度で終了せずに、後年度においても「負担=支出」をしなければならない場合には、議会の議決を経てその期間と額を確定するもの。

ク議会だより 第108号 平成24年1月15日発行

4議員が一般質問を行い、教育長問題、

町政をただしました。

分科会質疑

算等に伴う調整である

持管理事業の内 旧第2中施設維

福島県からの避難者支援 冬の備え万全に

第 て の債務負担行為につい

ったため、人事異動 当初見込んだ 職員共済費の増 ままの予算で 負担率の再計

掛金を盛り込んだ。

分の増額、

退職者共済

し分及び臨時職員雇用 ター職員賃金の見直

指定管理料に ついては、

いたが、今日の経済状当初51名分を予定して 助費の増額については なっているか。 学援助費の実態はどう 者にかかる扶

除雪対策に万全

整備費である。 除雪機械等の

> 事務経費中、 小学校教育振興 就学援助認定

> > る。

共済基金(消防団

追加負担を求められた。たり2万2800円の 各市町村の負担増分に 基金)が大幅に不足す ることから団員1名当

各地区交流セン タ―指定管理料 つ 況から4名の認定とな たも 負担金の具体的 消防補償等組合 0

公務災害補償が行われ 害補償等共済法により な内容につい 名の団員が殉職した 消防団員等公務災 によって25 東日本大震災

生活の・

しづらさ

業会計の保険給

現在2億20

国民健康保険事

実態とニーズ調査が行的で、全国の障がい児的で、全国の障がい児の生活の生活の場所が別別の生活の場所が別別の生活の場所が関係の改善を表しているのであり、福祉施策の改善を表しているのであり、福祉施策の改善を表しているのであり、福祉施策の改善を表しているのであり、福祉施策の改善を表している。 査事業とはどういう調 などに関する調 査か の大舟下地区が対象とわれる。本町では東沢 実施するもの

ている。 付金残高はいくらか

では約9%となって で 23 %、 利用率は件数 金額

ジェ 薬品の利用実態 0万円となっ ネリック医

第2

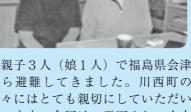
相談を受けている。 はない 暴力的な虐 (育児放棄) が、

どうなっているか

童虐待の実態は 本町における児 小松保男さん、妻誓子さん



親子3人(娘1人)で福島県会津 難してきました。川西町の 方々にはとても親切にしていただい だけるとお聞きし、大変有難い事だ



と感謝しています。

特許が切れた医薬品を他の製薬会社が製造あるいは供給する後発医薬品をいう。

大雪にびっくり、福島県から玉庭に避難されている小松さん夫妻

債務負担行為補正

自平成24年度

至平成27年度 自平成24年度

至平成27年度

自平成24年度

至平成27年度

自平成24年度

至平成26年度

自平成23年度

至平成24年度

294-77

各地区交流センターおよび

付帯施設にかかる指定管理料

付帯施設にかかる指定管理料

付帯施設にかかる指定管理料

総合運動公園ホッケー競技場

整備にかかる設計委託料

東沢活性化センターおよび

町民総合体育館および

浴浴センターにかかる

指定管理料

予算特別委員会は、常任委員会を単位と する2分科会で構成され、一般会計等の補 正予算を審査しました。

ここでは主な内容と分科会での質疑を要

約してお伝えします。

円を減額し、

1万円とした。

般会計は、

一般会計など4会計

の支援 東日本大震災避難者

避難者は12月現在13 西町に避難してい 本大震災により る

の補正予算を審議した。 れた義援金を充てる。 財源として町に寄せら 催の経費を見込んだ。 活を支援するため、雪 慣れない積雪地での生 帯50人となっている。 ろしの人夫賃、灯油

消防補償等組合負担金 消防団員251名が殉 東日本大震災により

交流会の開

放課後児童クラブ運営

吉島児童クラブ「き

限度額

1億6400万円

3億円

670万円

5500 万円

1000万円

掛け金。 小中学校施設定期検査 掛け金。1436万円務災害補償費の追加の 職されたことに伴う公

設を検査するもの。 年に1回小中学校の施 建築基準法により

平成27年度までの費用 定管理者の指定期間が 区交流センタ 年となることから、 T成24年41 一等の

の限度額を定めたも 全員賛成により可決 月から地 指

債務負担行為の追加補 となるもの。128万円 を超えたことから増額 らり」の児童数が20

県、 ②国税庁長官、都道府 める特定非営利活動法 円に引き下げるもの。 市町村が適切と認

用対象となる。

赤十字社、

私立学校法

共同募金会、

日本

人、特定非営利活動法

人に対する寄付金も適

なるのは、 寄付金控除の対象と

地方公共団

%が税額から控除され 0円を控除した額の6 内、2000円を超え 出した寄付金の合計の 適用対象は、 る寄付金。 人等に対する寄付金。 寄付金額から20 1年に支 0

さらに地方公共団体 50%を乗じて、

さ

度による寄付金は、 ら控除される。これにその5分の3が税額か より「ふるさと納税」制 除した額に所得に応じ 額から2000円を控 例控除があり、寄付金 に対する寄付金には特 全員賛成により可決

て 90 ∫

ふるさと納税 優遇されます

る。

未来を担う子どもたちに誇れる町を一ふるさと納税が優遇されます

住民生活課

プラザ使用料

証明手数料の住民負担が軽減される―役場総合窓口

使用料、 ンドリ

設備器具使用 プラザの施設

事前に確定できるもの 状況にある。そのため 確定することが難しい

用後に追加徴収してい

のものについては、

使

は前納とし、

、それ以外

例の一部改正

フレ

っていたが、

料は前納することにな

フレンドリープラザ条

証明手数料

則での規定に改め、

用料を条例によらず

要となる。

設備器具使

その都度条例改正が必 増設などがある場合は の進歩などによる更新、

便性を図るもの。

住民負担を軽減

①証明手数料の単位を 手数料条例の一部改正

「枚」または「通」と規定

する2市2町による消②平成24年4月に発足

に見直す。

防広域化に伴い、

消防

利用しやすいフレンドリープラザを目指して

が定められている。こ

れらの設備器具は技術

料は条例によって43件また、設備器具使用

きの簡素化を図るもの

納」に改め、

使用手続

もたせ「原則として前 るが、その適用に幅を

ものを「通」または「件」

数枚ある場合、その枚定されているものが複しているが、「枚」と規 め「枚」と規定している 住民サービス向上のた 場合もあることから、 寄帳などは高額になる 料を徴収している。 数に単価を乗じて手数 名

> 条例から削除する。 担うことになるため、 政事務組合消防本部が 交付事務は置賜広域行 法に基づく各種証明書

除く罹災証明は従来通 り町で発行する 全員賛成により可決 ただし火災・救急を

> **かわにし議会だより** 第108号 平成24年1月15日発行

定例会2日目に、

4人の議員により

を要約してお知らせします。

一般質問が行われました。その内容

教育長人事はい 占 つ提案される

教育委員長 —

不在は好ましい状況でない

町 長

ー 今しばらく猶予を

置賜と会津地方

組んではどうか。

を得て予防医療に取り

本町の歯科医師の協力 善が関係するとのこと

飯豊桧枝岐線は

て運動すべきでないか

E区間) 改修に向け

を結ぶ262・6Km

証し 在となっている 高橋 空席になってい お詫び申し上げる。けていることについて 務代理者を置き対応し 教育長については、職 はいつ提案されるのか いるが、ご心配を掛 10月1日以来不

る人材を迎えたいと思 たとおり、 終日の緊急質問に答え 期だが、9月定例会最 人選は現役世代を含 ップとして対応でき 教育行政の

教育長選任の提案時 関、 か。 時間の猶予をいただき 示している。 べきものと思うが。 教育長を早急に選任す の人事などを考えれば、 しているが支障はない 高橋 課長を職務代理 めている。今しばらく 関係者と調整を進 24年度の教職員 事務の執行に遺

小松小学校の新築工事 再編幼児施設の準備、 予算編成や教員の人事、 漏のないよう指 新年度の

め幅広く相談させてい

橋本 野田首相はTP

P交渉参加を表

明した。

発効まで10年

効に利用し、

また町独

らこれらの支援策を有 県の情報をとらえなが

店の景気は町内の企業

小売

の猶予があるというが

の平均年齢が

・2歳の現在、

T P

べきと思う。

ら後継者対策を進める 自の策も上乗せしなが

橋本大震災と原発事

今年は、

東日本

タイの大洪水、史

高橋教育委員長にも 各校長先生、 に執行されてきた。

という考えがあると思 町長と一緒に汗をかく が、私はそれを超えて 人選に協力すると言う

権限は与えられていな ないが、任免に関する **容温**息 ましい状況では 歌 寛 教育長不在は好

行は、佐藤教育委員長、 と支援をいただき適切 事務所の多大なる指導 らの重要案件の業務遂

うがどうか。

たい。

置賜教育

ている。

について

髙橋 今、好ましい状 かこうではないか。 いと申されたので、

予防医療について

けて取り組んでいく。

期待される。 の路線であり、

実現に向 効果が

向けては歯周病

糖尿病の改善に

受量表 汗をかきとった 歌 寛 要請があれば、 公の場面で私が言及す る立場ではないと感じ もに人選に向けて汗を いう気持ちはあるが、 汗をかきたいと

高橋 歯周病の予防に

する受診勧奨に努め 歯周病と糖尿病の関係 歯科医師の協力を仰ぎ ている。町内の医師、 の治療も重要と認識し

(菅沼峠)全線改修県道川西小国線

高橋 福島県桧枝岐村 修を全線(川西町分3 在進めている部分的改 と菅沼峠を連結し、 現

歯周病の予防で糖尿病の予防を



と減少している。 一時

21社から、

企業は、

昨年の51社中 64 社中20社

TPP交渉参加についてどう考えるか

具体的に進めたい。 材育成方針を明確にし、 本町の農業振興策や人 は重要な課題である。 齢化による後継者対策 農者は29人である。高

画を策定した。

具体的

実・強化を図り推進計 産業推進室を設け、 ている。今年より6次 トに6次産業化をあげ

帰休などで雇用を維持

充

橋本 多額の補助金と

業者にさまざまな形で な取り組みを目指す事

と考える。セミナーや

ない。依然厳しい水準

している企業も少なく

雇用創造事業により雇

就職相談を開催したり

支援策を用意する。

町長 一 実態が不明、参加には基本的に反対

人で、5カ年の新規就

の小プロジェク 第4次総合計画

調査の結果、 上高で増加した

人口は1861

本町の農業就業

るべきだが進み具合は な活気をすぐにでも作

景気動向をどうとらえ った。年末に入り町の つてない苦難の年であ も含め日本にとってか 上空前の円高など本町

6次産業化の推進によって儲かる農業に

だが。

後継者対策を急ぐべき の危機が迫っている。 Pを待たなくても衰退

進により、

町内の新た

ある。6次産業化の推

儲かる農業も大事で

橋本欣一 議員

象で84件の申し

橋本 住宅リフォー

どのようになっている な好評と聞くが実績は 県と町の補助対

を期待している。 助成等により景気浮揚 助成事業は大変

プレミアム商品券への 用創出を図っている。 注になっている。 べきだが。

い。
算での対応を検討した 補正予算や、 上である。今後、 効果は思った以 来年度予

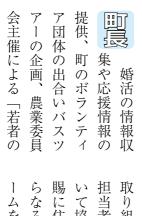
込みがあり、 4700万円の工事受 総額2億

雇用と景気高揚を図る 橋本 今後この制度を

議会だより 第108号

結婚活動推進・婚活を支援せよ

町長 一 参加しやすい環境づくり、交流活動を支援する



について伺う。 の町の取り組みと支援 げているが現在、今後 活推進事業は成果をあ 町で取り組んでいる婚 りあげるのも一つであ 活事業を社会全体で盛 出合いの場をつくる婚 くり・人口増加には、 もなっている。 地域の活性化の妨げに 展に大きな影響を与え、 域の過疎化や経済の発 今年、置賜三市五 地域づ

らなるプロジェクトチ 賜に住む市民・町民か いて協議を行った。 担当者が推進事業につ

り、今年5月置賜行政同様の課題をもってお 事務組合理事会におい にある。近隣市町でも キングイン川西」等を 出合い・ふれあいクッ 取り組み、各市町婚活 て婚活事業を広域的に なか結びつかない状況 が、所期の成果になか 企画したこともあった て積極的にイベントを だいている。 な形で婚活応援をいた 相談員の方々にも様々 開催し、さらに元結婚 町でも婚活支援とし

掲示も行っている。

今後は、先進地事例

課題が山積みしており

しかし、まだ町政の

センターにポスター

0

全力で取り組んできた りに向けて町政運営に して暮らせるまちづく

定であり、

町報や交流

る。

1月にも開催予

成果をあげて

地方分権改革等、 化の中で行財政改革、

安心

境づくり、町内外の団工夫や参加しやすい環 される予定であるが、 三選出馬について 層の活動にも支援する 体交流に取り組む青年 に学び、出合いの場の 長選挙が執行 来春、 川西町

原田町長の三選出馬へ



若いカップルに託された川西町の未来

ど栄光の記録を残して 甲子園ではグランプリ 内閣総理大臣賞や観光 活動が高い評価を受け 活動に取り組む」研究 官」を柱に、長期安定 新3P賞を受賞するな を受賞し、 今こそ、置農と 県内でも山

を問う。 づくり」を目指すべき。 然豊かな歴史あるまち 後の連携協働のあり方 るこれまでの評価と今 境の提供」が欠如して 「置農との連携、生き 町の後期計画では、 「置農」に対す 実践可能な環

地元活性化など多彩な 生産の仕組みづくりや 会では「資源循環型の である。全国の各種大 業を学べる貴重な高校

(置農)は、農置賜農業高校

した「環境・農業・自

ち活性化プロジェク 育・販売や「えき・ま た(エコ)地鶏」の飼 すを利用した「やまが ワインの絞り 置農はこれまで か

活動や「ぼ~の」によ よう連携を図っていく づくりに参画して頂く で生徒さんからもまち 今後もさまざまな分野 き連携を図ってきた。 先生に参画していただ の校長先生をはじめ各 進計画策定などに置農 また、6次産業化の推 にとって不可欠である 域活性化、 農の存在は、本町の地 販売を行ってきた。置 子「みつ福」の開発・ る農産物の販売、 ト」によるまちづくり まちづくり

斉藤 6次産業化の成 動内容と今後の方針を 意」がカギとなる。活 本年度から6次

の報告を受けた。 6次産業化推進計画書 には、策定委員会から 行ってきた。12月2日 会を設置し計画策定を 推進計画策定委員 産業推進室を設 6次産業化の

産業化の拠点施設とな る直販施設に関する調 ための基礎調査や6次 斉藤智志 議員

査やこまつ市や特産品 振興補助などに取り組 フェアの開催、特産品

斉藤 育している、「や いなど町の支援体制に ないか調査を開始した。 業化の推進事業ができ 果を本町で生かしてい くべき。 まがた地鶏」の研究成 「エコ地鶏」の取り扱 「地鶏」による6次産 犬川地区では

置賜農高との連携でエコ地鶏産業を興すべき

町長 ― 地鶏の産地となるよう環境づくりを行う

平成17年に県が ついての考えを問う。

交配試験を行い登録し 備を行っていきたい 産地となるよう環境整

餌が認められないなど り、食品残さ飼料の給 間が長くコスト高であ た地鶏である。

飼育期

ある。 分期待できる。地鶏の としてブランド化でき なくても「エコ地鶏」 サイクルの確立にとっ 組みは、エコや食品リ て推進するには課題が る。農家への波及も十 まがた地鶏」に限定し て大変意義があり「や 「やまがた地鶏」とし しかし、 置農の取り



置農から6次産業化を発信

この大好きな川西町の を担当させていただき、 することを決意し、 来春の町長選挙に出馬 半ばであることから、 き続き町長として町政

少子化は、地人口減少

らは他市町より4名多

型型 少子化人口減少 厳しい財政環境

いる。これまで2回開 く企画や募集を行って

を捧げてまいる覚悟で まちづくりに全身全霊

かわにし議会だより第108号

加藤俊一 議員

議員定数削減



不

採

会

西町の未来を考える

員定数削減を求める請 ◎川西町議会議員の議

《紹介議員》

政改革の基盤確立は必

議員定数も

髙橋

代表

菅野

則



定例会の6月7日の本 会議において、 平成23年第2回議会 議会運

《審査の経過と結果》

減を求めるものである とのことから定数の削 聖域化せず見直すべき

8月には、

請願者か

名から4名定数を削減 これまで平成19年に19 の聴取を行った。 おいて全議員から意見 月の議会全員協議会に ら直接意見を聞き、9 本町議会においては

た結果、 がないことや、 ましいとしている。 権者1000名当たり 発揮するためには、有 調査特別委員会を設置 た。そこに至るまでは 1議員とすることが望 し種々検討を重ねてき 有権者が1万470 人余りで大きな変化 現在の15名となっ 議会の機能を 昨年の

議会の活性化は不可欠、調査特別委員会を立ちあげよう

営委員会に付託され審 議を行ってきた。 請願の趣旨は、 行財

まえ、 立ち上げるべきとの意 択となった。 いて「特別委員会」を 場から3月定例会にお 調査検討が必要との立 可欠であり、 らず議会の活性化は不 これまでの審議を踏 議員定数のみな 引き続き

見集約を行った。 全会一致で不採択 (欠席1名)

請願取り下げ

出の請願 撤退を求める意見書提 ◎原発からの速やか

徒たちも、

地域の方々

素晴らし

(1

し

め

り」が完成しました。

昨年は東日本大震災

の優しい指導を受け、

製作に取り組みました

最初はおぼつかない生

もと5、

6年の生徒が

なり、和気あいあい

の

地域の方々が先生に

こまです。

め飾りづくり」のひと

中郡小学校での 願いをこめて

があり、 提出の請願」は、 り下げを許可すること らの「取り下げ の事情により請願者か な撤退を求める意見書 た「原発からの速やか れ継続審議とされてい 9月定例会に提出さ 本定例会で取 諸般

3月定例会で同趣旨の

なるよう心をこ ける希望の持てる年

請願が不採択になって

会では全会一致で不採

いることから、

本定例

表紙の写真

に意見書 已解消

意見書 進歩や安全な医療への 働に加え、 場では、長時間過密労 加などで、 必要とする高齢者の増 期待が高まり、 現在の医療・介護現 医療技術の 介護を

> 化し、離職者も後を立従事者の労働環境は悪 なっている。 たず深刻な人手不足と よって医師・

意見書

の医療・

介護を求める

環境改善で安全・安心

看護師などの労働

◎看護師不足解消のた

確立することが喫緊の 課題である。 心の医療・介護体制を の改善を図り、 師・介護職員の増員を い交替制の労働環境 安全安 た24施設(別表)の指 および付帯施設を含め

定管理者を引き続き指

各地区交流センター

全員賛成により採択

定した。第4次総合計

画・後期計画の終了期

間に合わせ、

町と地区

24時間奮闘の医療現場

別 表

小松地区交流センター、大塚地区交流センター、川 西農業センター、犬川地区交流センター、中郡地区 交流センター、川西町農業研修センター、中郡農村 ター、玉庭農村公園、東沢地区交流センター、東沢 生活改善センター、東沢活性化センター、東沢農村 公園、東沢舟山公園、吉島地区交流センター、川西 町多目的研修センター、吉島農村公園

川西町民総合体育館、川西町総合運動公園クラブハ ウス、川西町総合運動公園ホッケー競技場、川西町 総合運動公園多目的運動場、川西町総合運動公園

各地区交流センター指定管理 旾

域づくりの継続性が図 計画との協働により地 ら4年とした。 られる利点があるとし 指定期間を3年か

ンターは、引き続き施 また、 川西町浴浴セ

とした。

全員賛成により可決

より ができるということか 極的な運営を図ること ら指定期間を他の施設 1年間短縮し3年

設のさらなる健全、

かわにし議会だより第108号 平成24年1月15日発行

景気の後退などと暗 更には円高などによる

したが、新しい

イメージの年となり

選挙管理委員会委員及び 同補充委員を選出

月31日までとする。 月20日の定例会最終日に実施し、当選人となった管理委員4名と選挙管理補充委員4名の選挙を12 もの。任期は、平成24年1月1日から平成27年12 平成23年12月31日をもって任期満了となる選挙

〈選挙管理委員〉

●島貫 武彦

生年月日 川西町大字小松470番地 昭和14年12月19日

生年月日 川西町大字吉田2691 昭和13年11月27日 番地

●小林美代子

生年月日 川西町大字上小松1550番地の5 昭和22年6月3日

● 佐藤 久夫

生年月日 川西町大字大塚1308番地 昭和30年9月20日

〈選挙管理委員・補充委員〉

●佐々木

川西町大字上奥田4045番地 (補充第1順位)

生年月日

昭和18年10月17日 (補充第2順位)

住所 ●鈴木ゆり子

川西町大字下 奥田1629番地

● 金 子 生年月日 昭和23年7月7日

川西町大字玉庭1524番地の 吉憲 (補充第3順位)

住所

奥山 生年月日 昭和24年8月2日

川西町大字大塚1554番地の2 雅広 (補充第4 雅広

生年月日 昭和42年4月23日

全員賛成により当選

人権擁護委員の推薦

ので議会の意見を求められたもの。 法務大臣より人権擁護委員の推薦依頼があっ

せんでした。

議論がなされているの がいつ開かれ、どんな を受けるまでは、

議会

議会モニター

の依頼

〈推薦人〉

●島貫

生年月日 昭和18年10月5日 川西町大字上小松1507番地



広報モニターから

千寿子 さん

ア等に参加させていた

イベントやボランティ

り組み、 方々が町民の代表とし だき、少しずつではあ なさっている様子を知 での問題解決にご苦労 ている難題に真剣に取 婚活推進など、 業の推進、TPP問題 せていただき、 ているところです。 りますが、理解を深 初めて議会を傍聴さ 介護問題、地場産 限りある財源 議員の 山積し

近隣住民との交流も薄 れ希薄な世の中になり てしまう将来への不安 行き高齢者だけが残っ 町から若い人が去って りました。 加速する人口減少

か、正直関心がありま りまで安心して暮らせ には子どもからお年寄 丸となって人がたくさ る住みよい環境づくり づくりを目指し、行政 ん集まる魅力あるまち つつある昨今、町民一

ほとんど町外でしたの また地域とのつながり の知識は皆無に等しく 四十年余の勤務地は、 町の行政について いろんな

全員賛成により推薦

経過

には地域住民の応急避 難場所としての役割も とともに、非常災害時 の学習生活の場である 学校施設は児童生徒

重要であり、

安全性の確保は極めて 推進が求められている 果たすことから、 小学校の耐震診断の結 平成21年1月、 耐震化の その

が困難なことや、

現校

防災の拠点となる施設 ○災害時の避難場所、 ○地域に開かれた学校

3階部分の敷地確保

となった。

持ちする建物

○シンプルで丈夫で長

耐震不足が明らか



になった。

基本設計

見び実施設計

舎を全面改築すること 的に検討した結果、校

小松小学校新

耐震化計画まとまる

多くの思い出をありがとう 小松小学校

○郷土を愛し、 いる。 化の進め方の基本方針 校環境整備を目指す 心とたくましい を次のように説明して

耐震化の基本方針

教育委員会では耐震

○人にやさしく、 ぐくむことのできる学 に優しい学校 豊かな 体をは

工事、

校舎解体工事、 新校舎供用開始、 今後のスケジュール

ら、補修改修は難しい化が進んでいることか

過し校舎そのものの劣 舎が建築後40年余を経

平成23年度 とおりとなっている。 建設までの予定は次の は全面改築となるが、 小松小学校の耐震化

の時期、

財源等を総合

との判断となり、

工事

平成24年度 国の交付金事業申請

平成25年度 築工事 仮設校舎工事、 舎解体工事、 校舎新 北校

グランド整備 外溝

平成26年度

校舎新築工事

総務文教常任委員会

川西中の給食を試食

配るセンター

方式や各

に大量に作り各学校に

校給食が始まった。 から要望が強かった学 足した。 の川西中学校として発 学校給食には、 同時に保護者 一手

認するため10月21日、 の給食体制と施設を確 る自校方式がとられた。 常任委員会では現状

すぐにその場で味わえ 町では、温かい給食を 親子方式などがある。 ろで作り各学校に配る 調理に余裕のあるとこ 学校で作る自校方式、

> 口のゴマみそあえ、当日の献立は、マ 辺あえ、 委員一同満足した。 で味も大変おいしく、 ユーだった。量も十分 はん、牛乳というメニ すまし汁、

給ができるような体制

にも、農産物の通年供 使ったものとするため った。いているとのことであ 皆さんおいしくいただ ないという子がいたが、 生徒の中には量が足り に聞いたところ、 今後は地元の食材を 試食後生徒の皆さん 男子



美味しい、川西中給食

議会広報常任委員会

目次ぐ視察

栃木県塩谷町で議会改革を学ぶ

委員会から2委員会へ

○常任委員会構成は3

員定数は12

○議員定数を16名から の取組については、

のことであ きかったと る影響が大 たことによ 16名に減じ の矢板市が

現在議

併協議が破綻している 年12月に矢板市との合 3000人強。平成16 じ位の面積で人口1

議会活性化へ向けて

視察調査を行った。 改革・活性化に関する 県塩谷町に於いて議会

11月24~25日、栃木

検討中である。

の議会中継配信に向け

なっているかなどの懸 念材料を抱えている。

議会運営委員会

議会改革

塩谷町は、本町と同

が多かったが、

特に定

が取り組んでいる内容

にわかり易いものであ

議会は、もっと住民

何れも既に本町議会

数削減については近隣

○一般質問席の設置

長・副議長 名中、

○一般質問については

名と多く 経験者が9

問一答方式で制限時

(対面方式)

· 栃木県茂木町議会 · 宮城県登米市議会

·茨城県城里町議会

宮城県栗原市議会

会は日付順に

おいでいただい

·西川町議会

どを説明し、意見の交 編集技術、 ・アドバイザ モニタ

更に、開かれた議会と 6月より試行しており 間は60分以内とし本年

民の声を十



議会広報紙もまちおこしに一役 ― 城里町議会の皆さんと

まちの未来が見える

傍聴においで下さい

もあり、

視察受け入れ

良賞」を受賞したこと ンクールにおいて「優

全国町村議会広報コ

が相次いだ。

次の定例会は3月です

産業厚生常任委員会 商品の良さをP った。

おいて、商工会役員の11月22日商工会館に 行った。 方々との意見交換会を 今回は、

発プロジェクトについ今回は、①特産品開 状と活性化についての ②中心商店街の現 マで意見交換を行

あった。特に「日本い を得ているとのことで いて、本当に素晴らし いもの再発見」では

宣伝冊子で大々的に川 い商品が開発されてお 各プロジェクトにお 全国的に高い評価

ことである。

加者に配布されたとの

れており、3万人の参西町の特産品が紹介さ

意見が出された。 ただく努力が必要との 民の方々に理解してい 良さ、全国の評価を町 は、開発された商品の があった。そのために お願いしたいとの意見 して町や町民の協力を 今後は販売などに対

誘致などが必要であり、 化させるためには、 また、商店街を活性 町



川西町の特産品が勢揃い ― だり庵

待したいとの意見が出 取り組みにも大いに期 今般の6次産業化への 農家所得の向上、工場 民の所得向上が必要で ある。そのためには、

西にの言

若いお母さん中澤沙希子さん 中郡堀金にお住まいの に子育てについて聞きました。

お聞かせください の印象を

思っています。 雪が少ないといいなと なります。昨年は大雪 学校に行けるか心配に とびっくりしました。 で大変でした。今年は なくて、子どもたちが 吹雪いた時は前も見え 道はとても怖いです。 川西は道幅が狭くて雪 なに雪の量が多いのか んでいましたが、こん になります。隣町に住 西町に嫁いで8年

プロフィール 🌣

なかざわさ きこ中澤沙希子

昭和57年高畠町生まれ、平成16年に結婚

川西町大字堀金在住

3児のママ

お聞かせください

ます。毎日泣いたり笑 大騒ぎです。 ったり、家族みんなで い子どもたちが3人い 畑でトマトやアスパ 我が家には、かわい

邪などで病院にかかる これからの時期、 風

節を感じられる環境は、 ールに雪遊び、体で季 田植えから稲刈り、 どもたちの楽しみです。

自分で収穫するのも子 ラガス、スイカなど、

> 子どもたちの寝顔を見 子どもたちにはとても いことだと思います。 育児は大変ですが、 ことです。

かなと思っています。 日々成長できればいい も子どもたちと一緒に るのが楽しみです。私

どう思っていますか町の子育て支援策を

負担でした。 月々の医療費は家計の 中ですが、これまで 長女がぜんそくの治療 てもありがたいです。 医療費が無料なのがと 医療制度で、子どもの 川西町の子育て支援

ことが増えます。こう いう負担が減ったこと 本当にありがたい

ることはありますか これからの町に期待す

本年もご愛読のほどを り発行にこぎ着けた。 日程だったが、予定通 連休が入り厳しい編集 ない▼年末年始休業と の石としなければなら 義の原点だけに、他山 の表れ、まさに民主主 い。選挙は住民の意思 ら降りろとばかりの勢 じた既成政党は舞台か いる。政権交代劇を演

聞きました。 りをしてくれていると トロールカーが見回 川西町では、 青色の

られるように、青色パ けると大変ありがたい 広げて活動していただ トロールカーが範囲を 心して歩いて帰ってこ ます。子どもたちが安 く頃には暗くなってい るのが早くて、家に着 今の時期、 日が暮れ

イザー(写真)



年少、2歳の子どもと一緒に 1年生、

うございます▼維新の 会旋風が巻き起こって

・明けましておめでと

副委員長 委員長 発行責任者 アドバイザー(文章) 同同同 遠高 高橋 橋 藤 章 建 照 輝 智 一 夫 行 志 佐々木賢 近野ユキ子